

平成 31 年度 芸術科

教科	美術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	美術 3 (光村出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

美術Ⅲでは、自己の内面を見つめ、独創的、創造的な表現の構想を練り、作品のリズムやバランス等の造形性を考え、美的直感力や想像力、発想力、構想力を発揮した作品制作を行う。文化遺産、並びに現代美術の表現や様々な作品の鑑賞を通して、個性的で豊かな創造活動への理解と楽しさを学ぶ。

2 学習の到達目標

美術Ⅰ、美術Ⅱで学んだ美術の知識及び表現技法をもとに、自己の興味・関心に応じた、様々な素材を基にした表現を体感し美的感性や能力を伸ばす。作品を鑑賞することによって、作者の心情や表現意図を読みとり、生涯に渡って美術を愛好する精神を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	社会へのメッセージ	<p>【デザイン】【鑑賞】 【映像メディア表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会に取り巻く様々な問題について、未来の人類・地球のために自分が考えるメッセージをポスターにして表現し発信する。 ・アイデアスケッチを基に視覚伝達デザインが社会にどのように役立つのか体系的に学び、自己の表現を確立していく。 ・注目するポスター等を映像メディア等とおして鑑賞し構成力や表現内容・方法を学ぶ。 ・資料集め、下書きから計画的に作業を進め、色彩によるイメージ・構成、バランス感覚を身につける。 ・制作 B1パネルを使用して、アクリル絵の具等の自分に適した描画材料を選び表現する。 	○				<p>a: 独自の視点に立って問題点を感じ、どのような内容を社会へ発信しようとしているか。</p> <p>b: アピールする内容などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>c: アクリル絵の具等の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。</p> <p>d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深めているか。</p>	<p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>完成作品</p>

2学期	自己を見つめた独自の絵画表現	【絵画】【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・アイデアスケッチ 主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、独創的な表現を深める。 ・作家の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ・油絵30号による制作 	○	○			a: テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしているか。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っているか。 c: 油絵の具等の特性を生かし、内容に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及した独自の表現をしているか。 d: 作家の作品や他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めているか。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 完成作品
3学期	木版画カレンダー	【絵画】【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生のカレンダー作品の鑑賞 ・アイデアスケッチ 一人各月を担当し、季節に合った表現内容を考える。 ・木板による版画制作 	○			○	a: テーマに沿った独自の表現が成されているか b: 美的感性を生かし、季節に合った創造的な表現をしているか。 c: 木版画の特性を生かし、表現方法工夫しているか。 d: 過去の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めているか。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 完成作品

※ 表中の観点について a: 美術への関心・意欲・態度
c: 創造的な技能

b: 発想や構想の能力
d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている